

人と自然の調和を目指す

8/24~25

EVHA オーガニックキャンプが開催されました

今年で4年目となる「人と自然に寄り添う」野外フェスティバル、「EVHA オーガニックキャンプ」が八木キャンプ場で開催され、およそ300人が参加しました。

キャンプ場内の特設ステージを中心に様々な楽曲の披露や公演会、「水と森の番人会談」と題した座談会のほか、多数のワークショップが開催されました。

主催の横山慎一郎さん（尾呂久保）は「今年のテーマは【水】、大井川を初めとしてここ数年間で目に見えるようになってきた水の問題を話し合い、考える場にしたい」と話しました。



●太鼓の音を全身で感じるリズムワークショップ

みんなで過ごす夏の一日

8/20

民生児童委員による夏休み交流会（寺子屋）が実施されました

この事業は、夏休み期間中の子どもたちの見守りと交流を目的として民生児童委員が実施しているもので、今年の中川根第一小学校の学区を対象として徳山コミュニティ防災センターを会場に実施されました。

会場には小学生児童約30人が集まり、児童委員に教えてもらいながら自習用のプリントに取り組んだり、本や新聞にある漢字の意味や読み方を習ったりしたほか、昼食には手作りホットドックに挑戦するなどして過ごしました。

主催の民生児童委員からは「今後も交流と見守り活動を続けていきたい」との声が聞かれました。



●昼食の手作りホットドックは大盛り上がり

8/24

地域との交流の場に

あかいしの郷夏祭りが開催されました

あかいしの郷において今年で18回目となる夏祭りが開催され、入所者やデイサービスの利用者のほか近隣の住民など多くの人が集まりました。

施設前の特設スペースでは、徳山聖母保育園の年長児童による赤石太鼓をはじめ、キッズダンスやウーマンボラ（民生委員）によるステージが披露されたほか手筒花火なども行われ、施設の利用者や来場者を楽しませました。

あかいしの郷の澤本施設長は「利用者の方にとっても地域の方とふれあえる良い機会となっている。今後も続けていきたい」と話しました。



●利用者と地域の方がともに楽しむ場となりました

8/23

「地域共生社会」を目指して

おじさんキッチンと高齢者はつらつ教室の交流会が実施されました

高郷集会所において「おじさんキッチン」と「高齢者はつらつ教室」の交流会が行われました。

午前中に行われていた「高齢者はつらつ教室」に中川根放課後児童クラブが参加、「おじさんキッチン」のメンバーが腕を振った料理での昼食を楽しむというプログラムになりました。

用意された昼食のメニューは「お好み焼き」と「フルーツ寒天」。3グループあわせておよそ40人のにぎやかな食事会となりました。

料理を食べた参加者からは「家に来て作ってほしい」といった感想が聞かれました。



●美味しい食事に会話も弾んでいるようでした

今シーズンの成果を発表

8/31

幼児アクアリズム教室の発表会が実施されました

本川根 B&G 海洋センターにおいて、町内の保育園（桜、聖母、三ツ星）年長児とさゆり幼稚園の園児によるアクアリズム発表会が行われました。

保護者が見守る普段とは違う雰囲気の中、園児たちは音楽に合わせた運動を元気よく行い、6月から続けてきた練習成果を披露しました。

発表会を見た保護者からは「子どもたちが楽しそうにがんばっている姿を見れた」「潜れるようになっていた」といった感想が聞かれました。



●ウォーミングアップで力一杯水しぶきをあげる園児たち

ともに手を取り合う関係に

8/23

ゾーホージャパンと災害協定を締結しました

川根本町とゾーホージャパン株式会社による「『ふじのくに』フロンティアを拓く取組にかかる防災減災と地方創生協定」の締結式が行われました。

この協定は、災害発生時の情報発信やシステム復旧に必要なエンジニアの派遣をはじめ、避難場所や支援物資の保管場所としての敷地の提供など、同社の協力が得られるというものです。

今回の締結に際し、ゾーホージャパンの迫社長は「この町が持つ課題に対し、ともに協力して解決していきたい」と話しました。



●協定書を持つ鈴木町長と迫社長